



北陸新幹線 敦賀駅 駅舎の建築工事が完了！ ～金沢・敦賀間の6駅すべての駅舎建築工事が完了しました！～

鉄道・運輸機構（JR TT）は、北陸新幹線 敦賀駅において、令和3年9月より本格的な駅舎の建築工事を進めてまいりましたが、今月で完了いたしましたのでお知らせします。

敦賀駅は敦賀市提案のデザインコンセプトである「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」を表現した駅舎となりますが、このたび鉄道・運輸機構（JR TT）における本駅舎の建築工事が完了いたしました。これにより、金沢・敦賀間の6駅全ての駅舎建築工事が完了したことになります。

当駅は新幹線と在来線を結ぶ重要な乗換え駅です。このため、当駅の構造は上から順に新幹線ホーム（島式2面4線）、乗換えコンコース、在来線特急ホーム（島式2面4線）の3層構造になっており、駅舎の高さは約37mです。また、乗換え利便性に配慮した昇降設備としてエスカレーター26基、エレベーター6基や乗換え改札機19通路を備えた整備新幹線最大規模の駅となります。

引き続き、設備（電気・機械）工事や総合監査・検査を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



駅舎東側外観写真（令和5年8月現在）

<本件に関するお問い合わせ先>

北陸新幹線建設局 渉外部
TEL 0776-25-1280

デザインコンセプト

「空に浮かぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」



デザインイメージ

煌めく大海から未来へ飛翔する駅

敦賀湾の波の煌めきを表現し、
豊かな自然を感じられる駅をイメージ



コンコース

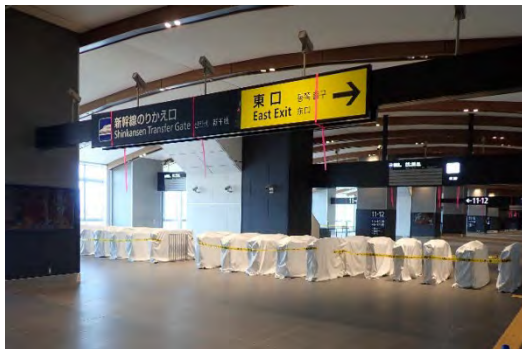
天井全体を北前船の帆をイメージした浮遊感のあるデザインとし、広いコンコース空間に相応しいスケール感の大きなデザインとなるよう工夫しています



ホーム

床は船の甲板をイメージした木調タイルで仕上げ、待合室は船をモチーフとしたデザインとしています

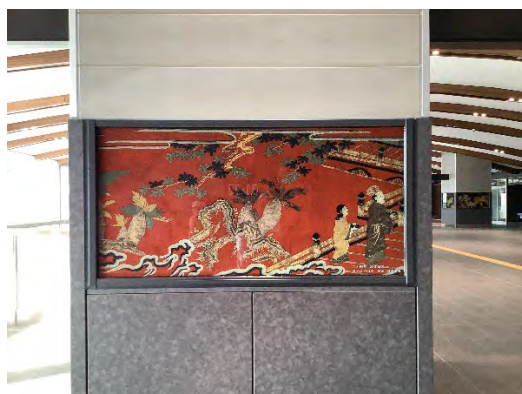
<敦賀駅内装の様子>



改札付近(19通路)



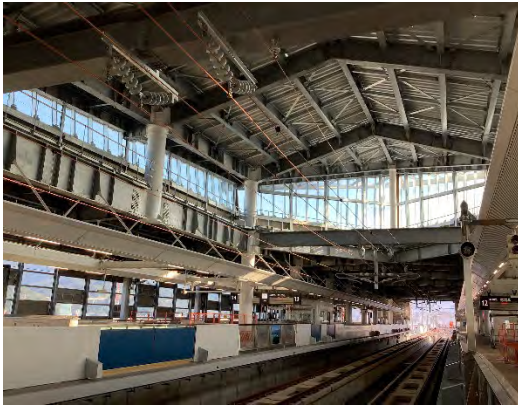
敦賀赤レンガ倉庫をイメージしたトイレの意匠



コンコースの柱に設置された山車の水引幕の意匠



県産材を用いたコンコース階の待合室



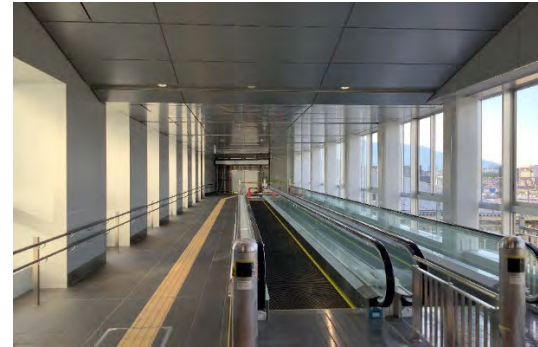
敦賀市の鳥ユリカモメをモチーフにした大屋根



地域の景勝地の写真を挟み込んだホーム安全柵



ホーム階から敦賀湾を望む



連絡通路のムービングウォーク

北陸新幹線 敦賀駅新築 工事概要

1. 工事件名 北陸新幹線、敦賀駅新築
2. 工事場所 福井県敦賀市木ノ芽町地内
3. 工事内容 敦賀駅

駅本屋 ^{※1}	鉄骨造2階建 約12,000㎡	※1:コンコース、駅務室、待合室など、旅客・駅務施設を指す
旅客上家 ^{※2}	鉄骨造平家建 約12,700㎡	※2:新幹線ホーム上に掛かっている屋根・外壁を指す
東口棟 ^{※3}	鉄骨造2階建 約1,200㎡	※3:駅舎東側に面する出入口を指す
ごみ集積室 ^{※4}	鉄骨造平家建 約300㎡	※4:駅のごみを集積する倉庫を指す
乗換こ線橋 ^{※5}	内装 約600㎡	※5:西側在来駅舎への連絡通路を指す
避難階段(1)~(4) ^{※6}	鉄骨造 合計 約300㎡	※6:外部への避難階段を指す
4. 施工者 鹿島・竹中土木・前田産業北陸新幹線、敦賀駅新築特定建設工事共同企業体
5. 駅諸元 ホーム形式:島式2面4線
ホーム延長:312m、駅舎の高さ:約37m、駅舎の幅:約44m